
優しいメロディ

風華 桜鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優しいメロディ

【Nコード】

N6406Z

【作者名】

風華 桜鈴

【あらすじ】

お昼に流れるリクエスト曲で少女の心は嬉しくなったり悲しくなったり、でも名の知らぬ人のリクエストと自分のリクエストで少女の心は変わっていく。

もうすぐ冬に入ろうという時期に外でお弁当を食べようと思う人間は余りいないらしい。

私は一人いつもの落葉樹の下でお弁当の包みを広げる。

ひらりひらりと舞う葉とそれを包むかのような柔らかい光。だが、確実に冬に向かう冷たさを含む空気。

それに包まれながらお昼に流れるメロディを待った。

お昼に流れるメロディは学生のリクエストによるもので、そのリクエスト常連の私はお昼が楽しみだった。自分のリクエストではなくとも誰かがリクエストした曲だと思うとどんな人かな、とか想像してしまう。

それが、地味でおとなしくて目立たない私の唯一の楽しみ。

一人で落葉樹の下でお弁当を摘んで校舎から流れてくる音楽に聴き入る。

たまにリクエストが叶って悲鳴のような黄色い声を上げる女生徒もいる。

それはとても微笑ましい光景

一曲目が終わって私はドキドキする。

流れてきた曲は私のリクエストした曲ではなかった。

でも、いつも気になる曲だった。

毎回同じ曲をだから。

それをリクエストする人は女性なのか男性なのか判らないでも、私もこの曲は好きだった。

名も知らない人がリクエストした名の知らない曲。

とても耳に心地よく、聞き入ってしまう。

終わった瞬間、まだ聞いていたいと思う優しいメロディ。

次に続いたのが私のリクエストした曲だった。

思わずしまったと思ったのはやはり、優しいメロディに酔っている。

たからかもしれない。

軽快なテンポで流れる私がリクエストした曲は先ほどの柔らかい優しさの違いきびきびとした目の覚めるような曲。

午後眠くならないように軽快なテンポのこの曲が私は好きだった。だけど、優しいメロディの後では居心地が悪い。

無理矢理起こされたような感じがして悲しくなった。

お弁当の味も判らないぐらいにただ、むなしさが心を占めた。

なんだか優しいメロディの人に失礼な気がして。私がリクエストした曲が終わっても全然嬉しくも元気にもなれなかった。

お弁当の包みを持って教室へ戻る途中、男子の集団とすれ違う。

「あのテンポのいい曲。眠気とぶなー」

笑い声とともに去っていく男子生徒たち

私がリクエストした曲で元気になってくれる人がいる。

思ってもいなかった言葉にぼーっと突っ立っていた私はふと我に帰り、私は教室へと向かう。

口元に笑みを浮かべて。

そして、私はクラスメイトに云おうと思った。

内気で何も発言しない私が「あの優しい曲を聴くと心が安らぐのよ」と・・・。

もしかしたら、その言葉は優しいメロディの人に届くかもしれない。届かなくとも私は好きだと誰かに宣言したかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6406z/>

優しいメロディ

2011年12月21日16時48分発行